

作成日または改訂日：平成28年09月21日

発行日：平成28年09月29日

安全データシート（SDS）

1. 製品及び会社情報：

製品の名称：	メタルカット MC-80C
会社情報：	
会社名：	トラスコ中山株式会社
住所：	〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号
担当部署：	東京本社商品部PB品質保証課
電話：	0120-509-849
FAX：	0120-509-839
整理番号：	MC80C-SDS-2

2. 危険有害性の要約：

GHS分類

物理化学的危険性

人健康有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2
皮膚感作性	区分1
発がん性	区分2
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分2（肝臓）

環境有害性

水生環境急性有害性	区分3
-----------	-----

※上記で記載がない危険有害性項目は、分類できないか分類対象外である。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語：

危険有害性情報：

警告
皮膚刺激
眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
肝臓の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き：

【安全対策】

取扱後はよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】
【廃棄】

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
暴露したとき、または気分が悪い時：医師に連絡すること。
施錠して保管すること。
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成、成分情報：

単一化合物・混合物の区分：
一般用途：
成分及び含有量：

混合物
切削液（水溶性）

成分	含有率 %
防錆添加剤	40以下
水	80以下
その他成分	各 1以下

化学物質管理促進法（P R T R法）：
労働安全衛生法 通知対象物質：

非該当
トリエタノールアミン 1～10%
ジエタノールアミン 1～10%

官報公示整理番号（化審法、安衛法）：

必要あるものは登録済み

4. 応急措置：

吸入した場合：

空気の新鮮な場所に移し保温し安静に保ち、必要なら医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合：

直ちに、触れた部分を石鹼を使って水で洗い落とす。

目に入った場合：

清浄な流水で直ちに15分以上洗眼した後、医師の手当てを受ける。洗眼時にはこすらず、まぶたを指で良く開き、眼球、まぶたの隅々までよく洗浄する。

飲み込んだ場合：

意識のある時は、口の中をすすぎ、水を与えるが、無理には吐かせない。医療処置を受ける。

衣服に付着した場合：

直ちに汚染した衣服を脱ぎ、汚染された身体部位は石鹼を使用してよく洗い流す。

5. 火災時の措置：

消火剤：

炭酸ガス、粉末、泡

使ってはならない消化剤：

棒状注水

消火方法：

初期消火には炭酸ガス、粉末消火器等を用いて、風上から消火する。

6. 漏出時の措置：

人体に対する注意事項：

作業者は適切な保護具を着用し、目・皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

保護具及び緊急時措置：

「8. 暴露防止及び保護措置」に記載

環境に対する注意事項：

河川中に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。

除去方法：

少量の場合：

ウエスや砂等に吸着させて回収する。

大量の場合：

土砂などで汚染の拡大を防止した後、できるだけ多くバケツ、ポンプ等で回収する。少量になったら、上記と同じ方法で処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意：**取扱い：**

- 目や皮膚に触れないように注意する。
- ミストや蒸気を吸うと気分が悪くなることがあるので、換気に注意し、ミストや蒸気を吸い込まないように注意する。
- 火炎との接触を避ける。
- エタノールアミンを含むので、亜硝酸塩を含む防錆剤などとの混合使用はできない。
- 空ドラムに圧力をかけてはならない。又、溶接や切断、穴明けなどは残留物が発火する恐れがあるので、2次加工は避ける。

保管：

- 誤飲を避けるように管理する（他の容器に移し替えると誤飲する可能性があるので注意）。
- 使用しない時は、容器は密栓し、ごみや水などの混入を防ぐ。
- 酸化性物質との混載、混合保管は避ける。
- 子供の手の届かない場所に保管。

8. 暴露防止及び保護措置：**管理濃度：**

規定なし。

許容濃度：

規定なし。

設備対策：

規定はないが全体換気装置、又は局所排気装置の設置が望ましい。

保護具：

呼吸用保護具：必要に応じて適切な呼吸用保護具を使用する。

保護眼鏡：必要時にはゴーグル型の眼鏡を使用する。

保護手袋：耐油性のものを使用する。

保護衣：濡れる場合は耐油性のものを使用する。

9. 物理的及び化学的性質：**物理的状態、形状、色など：**

淡黄色液体

臭い：

弱いアミン臭

pH（原液）：

9.7

pH（5%）：

9.5

融点・凝固点：

<0°C

沸点、初留点及び沸騰範囲：

データなし

引火点：

なし

爆発範囲（Vol%）：

データなし

蒸気圧：

データなし

蒸気密度（空気 = 1）：

データなし

密度 g/cm³：

1.03 (25°C)

溶解性：

水に溶解。

オクタノール/水分配係数：

データなし

自然発火温度：

データなし

分解温度：

データなし

動粘度 mm²/sec (40°C)：

-

揮発性：

水に準ずる。

10. 安定性及び反応性：**引火点：**

9. 物理及び化学的性質に記載

可燃性：

燃焼する（水分蒸発後や強制燃焼）。

安定性・反応性：

通常の状態では極めて安定。但し、強酸化剤との接触は避ける。

発火性（自然発火性、水との反応性）：

なし

自己反応性：

なし

爆発性：

なし

1 1. 有害性情報：

急性毒性：	経口 LD50 >5000 mg/kg (計算値) 経皮 LD50 >5000 mg/kg (計算値) 以上に基づき、「区分4」よりさらに低い危険有害性であったため「区分外」とした。
皮膚腐食性・刺激性：	吸入 LC50 は、データがないため分類できないとした。 皮膚刺激があると判断し「区分2」とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	強い眼刺激があると判断して「区分2」とした。
呼吸器感受性：	現在のところデータがないため、分類できないとした。
皮膚感受性：	アレルギー性皮膚炎を起こすおそれがあると判断して皮膚感受性「区分1」とした。
生殖細胞変異原性：	現在のところデータがないため、分類できないとした。
発がん性：	発がんのおそれの疑いがあると判断して「区分2」とした。
生殖毒性：	現在のところデータがないため、分類できないとした。
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)：	肝臓に対する影響があると判断して「区分2」とした。
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)：	現在のところデータがないため、分類できないとした。
吸引性呼吸器有害性：	現在のところデータがないため、分類できないとした。
その他：	現在のところ有用なデータなし。

1 2. 環境影響情報：

環境に対する有害性	
水性環境急性有害性：	混合物の成分の「濃度 (区分1) × 毒性乗率 (1) × 100 + 濃度 (区分2) × 毒性乗率 (1) × 10 + 濃度 (区分3)」が25%以上となるため区分3とした。
水性環境慢性有害性：	現在のところデータがないため、分類できないとした。
分解性：	現在のところ有用なデータなし。
蓄積性：	現在のところ有用なデータなし。
魚毒性：	現在のところ有用なデータなし。

1 3. 廃棄上の注意：

廃液：	この液を含む排水は活性汚泥などにより清浄にしてから放流する。若しくは、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。この液を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託するか排煙処理設備のある炉で強制燃焼する。
廃容器：	火気から遠ざけた安全な場所に集積し、廃棄に当たっては都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

1 4. 運送上の注意：

陸上輸送：	非危険物
海上輸送：	非危険物
航空輸送：	非危険物
注：	運送に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう取り扱う。
国連分類：	非該当
国連番号：	非該当

1 5. 適用法令：

P R T R法：	非該当
労働安全衛生法	
通知対象物質：	トリエタノールアミン 1~10% ジエタノールアミン 1~10%
特定化学物質：	含有しない。
有機溶剤中毒予防規則：	指定物質を含有しない。
化審法 整理番号：	必要あるものは登録済み。
特定化学物質：	含有しない。
消防法：	非危険物

危険物船舶運送及び貯蔵規則：	非危険物
海洋汚染防止法：	油分排出規制
水質汚濁防止法：	油分、COD等排出規制（有害物質は使用しない）
下水道法：	油分、COD等排出規制（有害物質は使用しない）
貿易管理令：	適用外製品
廃棄物処理法：	産業廃棄物規制

16. その他の情報：

<参考文献>

- GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7252:2009（日本規格協会）
- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253:2012（日本規格協会）
- GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成手法の研修改訂版（中央労働災害防止協会）
- GHS対応MSDS・ラベル実務早わかり（産業環境管理協会）
- GHS分類結果データベース（製品評価技術基盤機構 NITE）
- GHS化学品の分類および表示に関する世界調和システム（経済産業省）
- GHS分類マニュアル [h17. 10. 20版]（GHS関係省庁連絡会議監修）

記載内容は現時点で入手可能な資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質の数値、危険有害性情報等に関しては、いかなる保証を成すものではありません。この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改訂されることがあります。また、注意事項は通常的な取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

以上